

市政報告

鹿児島市議会議員

永谷 さよこ

いのちとくらしによりそう

2025年第2回定例会は、6月26日、議案24件を原案どおり可決し閉会しました。
「教育予算の拡充を求める意見書」が提出され、全会一致で採択されました。
閉会中に開催される委員会で、永谷さよこは、8月4日桜島特別対策特別委員会で
桜島火山の継続的な爆発に伴う降灰対策及び大正噴火級の大規模噴火対策等について、
8月19日建設消防委員会ではかごしま郡山風力発電事業等について協議します。

◆◆ 永谷さよこは 市議会で5回目の個人質疑を行いました。 ◆◆

熱中症対策の強化

永谷：本市の熱中症による搬送状況について

消防局長：昨年5月1日から9月30日までの熱中症による本市の救急搬送状況について、搬送人員637人、年齢区分別の搬送人員は乳幼児5、少年90、成人214、高齢者328人、発生場所別の搬送人員は、住居216、仕事場96、教育機関48、公衆の出入りする場所141、道路上91、その他45人。

永谷：職場における熱中症対策の強化について本市の職員に対する周知方法と対応の具体例について

総務局長：庁内掲示板や現場作業のある職場への文書による通知のほか、安全衛生推進者を対象とする研修会において説明を行った。国から対応の具体例として、「手足がつる」「立ちくらみ」など本人が気づくべきことや「イライラしている」「呼びかけに反応しない」といった周囲が気を付けるべきことなど、初期症状での対応のポイントが示されている。

健康保険証廃止の影響

永谷：マイナンバーカードの有効期限について、窓口業務がひっ迫するおそれがあることへの対策は？

市民局長：今後、電子証明書の更新増加が見込まれることに対しては、現在実施中の休日・閉庁における窓口対応や、9月から開始予定の、一部の郵便局への事務委託などにより、市民の利便性向上に努めながら、窓口の混雑緩和を図る。

永谷：修学旅行等の学校行事においてマイナ保険証を持参することができない場合の学校の対応は？

教育長：国の通知に基づき、児童生徒本人がマイナ保険証を持参しない場合は、マイナポータル情報の印刷や資格情報のお知らせ等で、マイナ保険証を保有していない場合は、資格確認書の写し等で確認する。

永谷：マイナ保険証のメリットを享受できているか？

市民局長：過去の健診結果などが医師等に提供されることによりよりよい医療を受けられるといったメリットを享受できる被保険者も増加していると考えている。



「いつもと違うと思ったら熱中症を疑え」



あれっ、何かおかしい

手足がつる

立ちくらみ・めまい

吐き気

汗のかき方がおかしい

汗が止まらない／汗がでない



これも初期症状

何となく体調が悪い

すぐに疲れる

あの人、ちょっとヘン

イライラしている

フラフラしている

呼びかけに反応しない

ボーッとしている



かごしま郡山風力発電事業について

永谷：今後、景観形成ガイドラインに関する協議書の写しが本市へ提出されると考えられるが、市は



「調整手順」の手續に基づき対応するか？

建設局長：県の景観形成ガイドラインについては、調整手順に基づき対応してまいりたい。

永谷：事業者が県知事意見や市議会に対して示した県の見解も無視し、景観形成ガイドラインに関する手続きを後回しにして評価書を提出した場合は、調整手順を踏まずに評価書を届出したことについて遺憾であることを表明し、景観形成ガイドラインの遵守を要請すべきと考えるが、市長の見解。

建設局長：県によると、「事業者に対しては、アセス評価書の届出前にガイドライン協議書を提出し、事業者が遵守すべき基準への適合の有無を判断受けていただきたいをお願いをしている。」とのことから、景観形成ガイドラインの対応については、県において適切になされるものとする。

永谷：市長の見解を伺うが答えない。地元自治体の首長は見て見ぬふりをするのか。市民のための市政を担う自治体の長として大切なものを守るために、必要な時に必要なことを言わねばならない責任が市長にある。

介護人材の確保について

永谷：2025年問題に対する本市の認識は？

健康福祉局長：2025年問題は、団塊の世代が75歳以上となり、高齢化がさらに進行する中で、利用者が安心して、質の高い介護サービスを受けられるようにすることが、課題とされていることから、介護人材の確保・定着に向けた取組が必要であるとする。

永谷：本市の実態に即した調査を行い、現場の声を聴く取組により、計画に反映させる必要があると考えるが、本市独自の介護労働実態調査を行う考えはあるか？

健康福祉局長：第10期高齢者保健福祉・介護保健事業計画の策定に向け、7年10月に実施する予定。

永谷：国に対し介護職員の処遇改善を求めるべきと考えるが、市長の見解。

市長：介護職員の処遇改善については、国の責任において、全ての介護従事者の処遇改善に、継続して取組むよう、今後とも、中核市市長会等を通じて要望する。

永谷：介護人材不足の問題は、現在介護を受けている方や、これから介護を受ける方、介護従事者だけの問題ではない。今から親世代を介護するであろう、私たち現役世代が、介護離職せずに働き続けるための差し迫った問題。市町村の実態をふまえた地方の声を国に届け、処遇改善を強く訴えていただきたい。



立憲・社民鹿児島市議会議員団

◆今回、個人質疑は永谷をふくむ3人の議員が登壇し質疑を行いました。

永谷さよこの個人質疑はこちらのQRコードからご覧いただけます。



誰もが安心して暮せる鹿児島市を みなさまと一緒に作りたい



みなさまのお困りごとや気になることを、永谷さよこにお聞かせください。様々な地域でお声をお聞かせいただき、大切な市民の声としてお届けしています。ご連絡いただければこちらから参ります。

【連絡先】

鹿児島市星ヶ峯1-26-16

携帯：070-9194-1133

メールアドレス：leyona0801@gmail.com



永谷さよこ プロフィール

1977年 鹿児島市生まれ 星ヶ峯在住
よいこの家（騎射場）→鴨池幼稚園→宮川小学校→西谷山小学校→星峯中→鶴丸高校→立命館大学国際関係学部中退→早稲田大学第二文学部卒業
助産師、看護師、ケアマネジャーを経て、
2024年4月より 鹿児島市議会議員
2025年度 星峯東校区社会福祉協議会会長